

洞爺協会病院 看護管理者マネジメントラダー

NO.1

令和3年11月 看護部

	目標	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
		自部署の看護管理者とともに看護管理を実践できる	自部署の看護管理が実践できる	トップマネジメントを担う一員として看護管理を実践できる	病院全体の管理・運営に参画するとともに地域まで視野を広げた看護管理を実践できる
<p>組織管理能力</p> <p>組織の方針を表現するために資源を活用し看護組織を作る</p>	<p>行動目標</p>	<p>①自部署の方針の策定に参画し、自部署全体に浸透させることができる</p> <p>②経営的な視点をもって自部署の人的資源、物的資源、経済的資源、情報資源を把握することができる</p> <p>③個々のスタッフの立場や意見を理解し、反応を予測しながら調整・交渉することができる</p> <p>④自部署の作業環境において、業務上の危険因子を把握し、予防と対策を提案することができる</p> <p>⑤自部署スタッフが倫理的感受性を高められるよう支援することができる</p>	<p>①看護部門の方針を理解した上で、自部署の方針を策定し、自部署全体に浸透させることができる</p> <p>②経営の視点をもって自部署の人的資源、物的資源、経済的資源、情報資源を評価し、整備することができる</p> <p>③必要な根拠を客観的に示しながら他部署・他部門と調整・交渉することができる</p> <p>④自病院が地域の医療資源のひとつであると理解し、施設外の関係者と連携することができる</p> <p>⑤自部署における業務上の危険因子への予防と対策を行い、スタッフが自分自身の健康を大切にするための働きかけができる</p> <p>⑥スタッフが自部署の倫理的課題を日常的に論議できるような組織文化を作ることができる</p>	<p>①看護部門の方針に参画し、看護部門全体に浸透させることができる</p> <p>②経営の視点をもって各部署の人的資源、物的資源、経済的資源、情報資源の整備を支援し、看護部門の資源整備と運営に参画することができる</p> <p>③あらゆる状況において、組織内外の関係者と調整・交渉することができる</p> <p>④自病院内及び地域におけるネットワークを意図的かつ計画的に構築することができる</p> <p>⑤看護部門における業務上の危険因子への対策や健康づくりの仕組みを構築し、スタッフが健康で安全に働けるよう環境を整備することができる</p> <p>⑥看護部門において倫理的課題を日常的に論議できるような組織文化を作ることができる</p>	<p>①自病院の管理・運営に関連するミッションに照らして課題を明確にし、病院経営陣の一員として改善策を考え、行動することができる</p> <p>②人的資源、物的資源、経済的資源、情報資源を整備し、運営することができる</p> <p>③あらゆる状況において、組織内外の関係者と調整・交渉することができる</p> <p>④自病院内及び地域におけるネットワークを意図的かつ計画的に構築することができる</p> <p>⑤病院経営陣の一員として病院全体の業務上危険因子への対策を講じるとともに、自病院のすべてのスタッフの健康づくりの支援に参画することができる</p> <p>⑥自病院において倫理的問題を日常的に議論できるような組織文化を作ることができる</p>
<p>質管理能力</p> <p>患者の生命と生活、尊厳を尊重し、看護の質を組織として保証する力</p>	<p>行動目標</p>	<p>①看護に関するデータの中から自部署の看護実践の改善に必要なデータを選別することができる</p> <p>②自部署の看護実践の改善に向けてスタッフを主導することができる</p> <p>③自部署の手順・基準などの見直しを提案することができる</p>	<p>①自部署の看護実践についてデータを活用して可視化し、評価・改善することができる</p> <p>②自部署の手順・基準などを整備し、標準化・効率化を推進することができる</p> <p>③個々のスタッフの看護実践能力を考慮した勤務体制をとり、看護の質を保証することができる</p> <p>④自部署のケアの質保証のためにスペシャリストの活動を推進することができる</p>	<p>①自病院の看護実践についてデータを活用して可視化し、継続的に評価するシステムを構築することができる</p> <p>②各部署が看護実践を継続的に評価・改善できるように支援することができる</p> <p>③適切な人的支援を確保し、看護の質を保証することができる</p>	<p>①自病院の看護実践についてデータを活用して可視化し、継続的に評価するシステムを構築できる</p> <p>②地域全体で継続的に看護の質を保証するための方策の立案・実施に参画することができる</p>
<p>人材育成能力</p> <p>将来を見据えて看護人材を組織的に育成、支援する力</p>	<p>行動目標</p>	<p>①自部署のスタッフを育成する体制を整備することができる</p> <p>②スタッフの看護実践能力を把握し、個々の目標達成にあわせた支援・動機付けをすることができる</p> <p>③外部からの実習・研修の受入れに際し学習環境を教員などとともに調整することができる</p>	<p>①個々のスタッフのキャリア志向を把握し、計画的な指導・助言によりキャリア開発を支援することができる</p> <p>②個々のスタッフの能力や可能性を見出し、機会や権限を与え、成長を支援することができる</p> <p>③外部からの実習・研修を受入れるための自部署での指導体制を構築することができる</p>	<p>①看護部門のスタッフを育成する体制を整備することができる</p> <p>②地域で必要とされている人材の育成に参画することができる</p> <p>③看護管理者に対して、管理者としての成長を支援することができる</p> <p>④外部からの実習・研修の受入れに際し、教員など課題や方針を共有し、看護部門における指導体制を構築することができる</p>	<p>①自病院の人材育成に関する方針を策定することができる</p> <p>②地域の看護人材の育成に関する課題を明確にし、その課題を踏まえた育成方針の立案及び育成の支援を行うことができる</p> <p>③外部からの実習・研修を受入れるための自病院の体制を整備することができる</p>

	目標	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
		自部署の看護管理者とともに看護管理を実践できる	自部署の看護管理が実践できる	トップマネジメントを担う一員として看護管理を実践できる	病院全体の管理・運営に参画するとともに地域まで視野を広げた看護管理を実践できる
<p>危機管理能力</p> <p>予測されるリスクを回避し、安全を確保するとともに、危機的状況に陥った際に影響を最小限に抑える力</p>	行動目標	<p>①未然防止や再発防止の視点をもって業務プロセスを見直し、部署内の改善を徹底することができる</p> <p>②事故や問題が発生した際、支援を受けながら経過に即した対応策を考え、スタッフが院内の対応策に則り行動するよう指導することができる</p> <p>③災害時に行動できるように、自部署の患者とスタッフの安全を確保するための対応策を立案し、災害発生に備えることができる</p>	<p>①自部署に関連する事故や問題のリスクを分析し、予防策を講じることができる</p> <p>②自部署における安全文化の醸成を図ることができる</p> <p>③事故や問題が発生した際、自部署の対応策を判断し、マネジメントすることができる</p> <p>④自部署で発生した事故や問題の原因究明を行い、再発防止作を立案し、継続的にモニタリングすることができる</p> <p>⑤災害時に行動できるように、自部署の患者とスタッフの安全を確保するための対応策の立案とスタッフへの教育を行い、災害発生に備えることができる</p>	<p>①看護部門に関連する事故や問題に対して、リスクを分析し、予防及び再発防止のための対応策を立て、実施に向けて各部署への支援・実施状況の評価をすることができる</p> <p>②看護部門に関連する事故や問題が発生した際、重大性や影響を踏まえて対応するとともに、当該部署が機能するために支援することができる</p> <p>③自病院における危機管理のための体制整備に参画することができる</p> <p>④災害時に行動できるように、地域における自病院の役割を把握し、災害発生時に限られた資源で遂行できるよう看護部門の対応策を立案し、災害発生に備えることができる</p>	<p>①看護部門に関連する事故や問題に対して、リスクを分析し、予防及び再発防止のための対応策を立て、実施に向けて各部署への支援・実施状況の評価をすることができる</p> <p>②自病院における危機管理のための体制整備に参画し、重大事案が発生した際には、危機管理の責任者とともに組織としての対応方針の決定に参画することができる</p> <p>③災害時に行動できるように、地域における自病院の役割を把握し、災害発生時に限られた資源で遂行できるよう自病院の対応策を立案し、災害発生に備えることができる</p> <p>④地域全体のリスクに関係各所と共有し、危機管理のための対策の立案・実施に参画することができる</p>
<p>政策立案能力</p> <p>看護の質の向上のために制度・政策を活用及び立案する力</p>	行動目標	<p>①既存の医療制度・政策に関する動向を情報収集することができる</p> <p>②既存の医療制度・政策について課題意識を持つことができる</p>	<p>①自部署の看護の質向上に既存の制度・政策を活用することができる</p> <p>②医療の動向を踏まえ、制度改正などへの対応を事前に準備することができる</p>	<p>①看護の質向上に向けて、各部署が既存の制度・政策を活用できるよう支援することができる</p> <p>②看護の質向上のために有効な制度改正・制度の提案を行うことができる</p>	<p>①既存の制度・政策を活用し、自病院及び地域の課題解決を図ることができる</p> <p>②職能団体や行政機関などと協働し、地域の看護の質の向上に向けた事業化を進めることができる</p> <p>③制度改正・制度の提案に向け、必要な関係者に働きかけることができる</p>
<p>創造する能力</p> <p>幅広い視野から組織の方向性を見出し、これまでにない新たなものを作り出そうと挑戦する力</p>	行動目標	<p>①慣習にとらわれず、新たな看護サービスの提供方式・方法を提案することができる</p>	<p>①新たな看護サービスの提供方式・方法を創造し、スタッフとともに実現に向けた行動をとることができる</p> <p>②地域に共通の保健医療サービスの課題を想定し、課題解決に向け調整することができる</p> <p>③医療・看護の動向や地域の状況などに関する情報を活用し、自部署および地域の看護ニーズの変化を予測して対応することができる</p>	<p>①医療・看護の動向や地域の状況などを踏まえ、新たな看護サービスの提供方式・方法を創造することができる</p> <p>②地域のニーズを把握し、必要な看護サービスを他施設の看護管理者と協働して整備するための方針を提案することができる</p>	<p>①医療・看護の動向や地域の状況などを踏まえ、新たな看護サービスの提供方式・方法を創造し、主導することができる</p> <p>②地域のニーズを把握し、必要な看護サービスを他施設の看護管理者と協働して整備することができる</p>